

令和3年度

シラバス(専門教科)

～生活情報科 1年～



鹿児島県立伊佐農林高等学校

生活情報科 1 年 専門教科

ビジネス基礎・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1

簿記・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3

ファッション造形基礎・・・・・・・・ P 6

「ビジネス基礎」	単位数	2 単 位
	学科・学年・学級	生活情報科 第 1 学年

1 学習到達目標等

学習の到達目標	1 ビジネスに関する基礎的な知識・技術を習得させる。 2 経済社会の一員としての心構えをもたせ、ビジネスの諸活動に適切に対応できるような能力・態度を育てる。
使用教科書・副教材等	ビジネス基礎, ビジネス基礎ワークブック (東京法令出版)

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学 習 内 容	月	学習のねらい	備考 (学習活動の特記事項, 他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など)	考 査 範 囲
第 1 学 期	第 1 章 商業の学習ガイダンス	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビジネスの世界の特徴的な 4 つのシーンから、理解力と実践力を身に付ける必要性を理解させる。 ・ 自ら考え、自ら学ぶ、基礎基本の大切さ、進路、生涯学習の観点から照合の学び方を理解させる。 ・ 商品が物の売買だけでなく、サービスも含まれることや経済の仕組みを理解させる。 ・ 生産・流通・消費の経済サイクルの中で、流通の持つ様々な役割を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商業経済検定に関連する内容を 1 年間で学習し、資格取得も可能です。 ・ 簿記は、商品の売買を記録するために作られた仕組みであることを関連付ける。 	中間 考 査
	第 2 章 経済と流通の基礎 1 経済の仕組みとビジネス 2 社会の変化とビジネスの発展 3 経済活動と流通	5			
第 1 学 期	第 3 章 ビジネスの担い手 1 ものの生産者 2 サービスの生産者 3 小売業者	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商品を製造して、市場に提供することが、ものの生産者の基本的な役割であることを理解させる。 ・ サービスの生産者が身近な存在であることを理解させる。 ・ 企業の種類を学習します。地元企業に関するレポートを作成します。 		期 末 考 査
		7			
<p>【課題・提出物等】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 授業中で使用するプリント (5 枚程度) 2 レポートを提出します。 3 次の(1), (2)を定期考査終了時に提出して下さい。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 各授業の板書内容と興味・関心を持った事柄をノートに記入し、提出します。 (2) 問題集を解答し自己採点したものを、提出します。 					
<p>【第 1 学期の評価方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 中間考査と期末考査の成績、小テスト (学期に 5 回程度)、レポート、プリント・問題集等の提出物の内容、学習への意欲・態度などで評価します。 2 学期全体の評価は、概ね、中間と期末の定期考査の成績、小テストで 70%、ノート、プリント問題集などの提出物の内容で 20%、学習への意欲・態度 10%の配分で行います。 					
第 2 学 期	4 ビジネスの担当者	9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 物流を構成させる 5 つの活動を理解させ、物流業者の役割と課題を理解する。 ・ 資金の需要者と供給者の隔たり、その橋渡しを理解させ、金融機関について理解させる。 ・ 保険が必要な理由、保険のしくみについて理解させる。 ・ サービスの意味を理解させるとともに、サービス業の今後や新しいサービスについて事例を通じて学習させる。 		中間 考 査
	第 4 章 ビジネスと売買契約 1 売買契約と代金決済	10			
第 2 学 期		11	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商取引における契約の重要性を理解させる。 ・ 通貨の種類やその発行主体、小切手、手形の概要について理解させる。 		期 末 考 査
		12			

【課題・提出物】 1 実収課題の授業終了時に提出します。 2 毎時、自己評価表に記入し提出します。										
【第2学期の評価方法】 1 中間と期末の定期考査の成績、実収課題、自己評価表、学習への意欲、態度などで評価します。 2 学校全体の評価は概ね、中間と期末の定期考査の成績40%、実収課題と自己評価法で40%。学習への意欲、態度で20%の配分で行います。										
第3学期	<table border="1"> <tr> <td>2 売買に関する計算</td> <td>1</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 割合の基礎である分数・小数などの表示方法や基本的割合に関する公式を理解させ、商業計算の基礎を理解させる。 仕入原価と売価の計算方法を理解させ、利益と原価の割合が利益率であることを十分に理解させる。 外国人とのコミュニケーションについて生徒に感心を持たせる。 世界にはさまざまなマナーがあることをまなびその重要性を理解させる。 あいさつやジェスチャーなど、コミュニケーションを取る際に重要な要素を伝える。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 「商業技術」の学習につながります。 「簿記」の学習へとつながります。 商業経済検定が実施され、希望により受験し取得が可能です。 </td> <td rowspan="3">学年末考査</td> </tr> <tr> <td>第5章 1 コミュニケーションの心がまえ 2 コミュニケーションの方法 3 日常の会話</td> <td>2 3</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	2 売買に関する計算	1	<ul style="list-style-type: none"> 割合の基礎である分数・小数などの表示方法や基本的割合に関する公式を理解させ、商業計算の基礎を理解させる。 仕入原価と売価の計算方法を理解させ、利益と原価の割合が利益率であることを十分に理解させる。 外国人とのコミュニケーションについて生徒に感心を持たせる。 世界にはさまざまなマナーがあることをまなびその重要性を理解させる。 あいさつやジェスチャーなど、コミュニケーションを取る際に重要な要素を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 「商業技術」の学習につながります。 「簿記」の学習へとつながります。 商業経済検定が実施され、希望により受験し取得が可能です。 	学年末考査	第5章 1 コミュニケーションの心がまえ 2 コミュニケーションの方法 3 日常の会話	2 3		
2 売買に関する計算	1	<ul style="list-style-type: none"> 割合の基礎である分数・小数などの表示方法や基本的割合に関する公式を理解させ、商業計算の基礎を理解させる。 仕入原価と売価の計算方法を理解させ、利益と原価の割合が利益率であることを十分に理解させる。 外国人とのコミュニケーションについて生徒に感心を持たせる。 世界にはさまざまなマナーがあることをまなびその重要性を理解させる。 あいさつやジェスチャーなど、コミュニケーションを取る際に重要な要素を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 「商業技術」の学習につながります。 「簿記」の学習へとつながります。 商業経済検定が実施され、希望により受験し取得が可能です。 	学年末考査						
第5章 1 コミュニケーションの心がまえ 2 コミュニケーションの方法 3 日常の会話	2 3									
【課題・提出物等】 1 模擬問題集を1月下旬までに提出します。 2 練習課題を3月上旬までに提出します。 3 学年末考査終了時にノート・問題集などを提出します。										
【第3学期の評価方法】 学期の評価は、学年末考査の点数を50～70%程度評価し、模擬問題集などの進捗度と理解度・間違い直しの正確性・宿題の達成度及び日頃の授業や資格取得への意欲と学習に対する姿勢などを30～50%程度評価します。										
【年間の学習状況の評価方法】 次の3つの観点から評価した1学期の成績、2学期の成績及び3学期の成績を統合し、年間の学習成績とします。										

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	ビジネス社会は、とても身近にある存在です。日ごろから、ニュースや新聞などでビジネス分野に関心を持ちましょう。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	欠席した場合は、その日のノートを級友から借りて写させてもらい、わからないところを教えてください。大切なことです。

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	ビジネスに関する基礎的・基本的な知識と技能を身に付け、経済社会の一員としての心構えについて理解している。	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 小テスト
思考・判断・表現	ビジネスの諸活動への適切な対応を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術をもとに、ビジネスの諸活動に携わるものとして適切に判断し、創造的に表現する能力を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ノート 発表の内容や仕方 授業中の配布物（プリントやレポート）
主体的に学習に取り組む態度	経済社会の一員として望ましい心構えと関心を持ち、ビジネスに関する基礎的・基本的な知識と技能をもとに、ビジネス分野における諸活動や社会の課題に対し、主体的に取り組む思考して取り組んでいるか。	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動への参加の仕方や態度 練習問題集 ノート 配布物の整理

3 担当者からのメッセージ

この科目は、今後学んでいく商業科目において基礎・基本となります。ビジネスについて関心を持ち、意欲を持って取り組みましょう。経済社会の一員としての知識や技能、態度を習得できるよう主体的に取り組んで下さい。

「簿記」	単位数	3単位
	学科・学年	生活情報科 第1学年

1 学習到達目標等

学習の到達目標	<p>1 企業において日常発生する取引を合理的，能率的に記帳する知識と技術を身につけます。</p> <p>2 取引の仕訳から勘定の記入を経て決算に至るまでの簿記の基本的な仕組みについて理解を深めます。</p> <p>3 作成した帳簿，伝票，仕訳帳や貸借対照表，損益計算書を通してビジネスの諸活動を計数的に把握する能力と態度を育てます。</p>
使用教科書・副教材等	新簿記新訂版（実教出版），反複式簿記検定問題集3級改訂版（実教出版）

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい	備考 (学習活動の特記事項，他教科・総合的な学習の時間・特別活動等の関連など)	考查
一 学 期	「簿記」学習について	4	<ul style="list-style-type: none"> 「簿記」学習の意義や内容，学習や評価の方法を理解します。簿記の意味と目的について理解します。 簿記の歴史を通して簿記の不易性や普遍性を考察し，簿記を学ぶ必要性を理解します。 資産・負債・資本の基本概念とそれらの相互関係及び貸借対照表の構造について理解します。 収益・費用の基本概念とそれらの相互関係及び損益計算書の構造について理解します。 取引の仕訳から勘定の記入を経て決算に至る簿記一巡の手続きの基本的流れについて理解します。 勘定の記入に関しては，勘定の役割を理解し，仕訳の方法を身につけます。 決算に関しては，試算表の作成方法と決算整理を伴わない決算手続きを身につけます。 	<ul style="list-style-type: none"> 簿記に関連する内容について年間を通して学習し，資格取得も可能です。 記帳練習を通して，ビジネスの諸活動を理解する能力も育成されます。 	中間 考查 期末 考查
	1 簿記の基礎	5			
	(1) 企業の簿記 (2) 資産・負債・資本と貸借対照表 (3) 収益・費用と損益計算書	6			
	(4) 簿記一巡の手続き	7			
【課題・提出物等】 <ol style="list-style-type: none"> 授業の中で使用するプリント（5枚程度） 次の(1)，(2)を定期考查終了時に提出してください。 <ol style="list-style-type: none"> 各授業の板書内容と興味・関心を持った事柄をノートに記入し，提出します。 問題集を解答し自己採点したものを，提出します。 					
【第1学期の評価方法】 <ol style="list-style-type: none"> 中間考查と期末考查の成績，小テスト（学期に5回程度実施），プリント・問題集などの提出物の内容，学習活動への意欲・態度などで評価します。 学期全体の評価は，概ね，中間と期末の定期考查の成績，小テストで70%，ノート，プリント問題集などの提出物の内容で20%，学習活動への意欲・態度で10%の配分で行います。 					

二 学 期	2 各種取引の記帳	9	・ 簿記上の現金の入金・出金及び当座預金の預け入れ・引き出しなど、現金と当座預金に関する基本的な取引の記帳について理解します。	中 間 考 査
	3 帳簿と伝票	10	・ 手形の振り出し、受け取り、裏書きなどの基本的な手形に関する債権・債務の記帳について理解します。帳簿の種類と役割、企業の分課制度と帳簿全体の仕組みについて理解します。	
		11	・ 入金伝票、出金伝票、振替伝票の作成方法及び集計、転記の法を身に付けます。	
	4 決算	12	・ 決算整理の意味及び必要性を理解します。 ・ 貸借対照表と損益計算書の作成方法を理解し、勘定式を用いて、控除形式による貸借対照表と2区分による損益計算書の形式について考察します。	
<p>【課題・提出物等】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 授業の中で使用するプリント（8枚程度） 2 次の(1)、(2)を定期考査終了時に提出してください。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 各授業の内容や興味・関心を持ったことをノートに記入し、提出します。 (2) 問題集の問題を解答し自己採点したものを、提出します。 3 問題集により学習内容の復習をし、自己採点をして提出します。 				
<p>【2学期の評価方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 中間考査と期末考査の成績、小テスト（学期に5回程度実施）、プリント・問題集などの提出物の内容、学習活動への意欲・態度などで評価します。 2 学期全体の評価は、概ね、中間と期末の定期考査の成績、小テストで70%、ノート、プリント、問題集などの提出物の内容で20%、学習活動への意欲・態度で10%の配分で行います。 				
三 学 期	5 総合復習	1	・ 検定試験3級の範囲を復習しながら習熟します。	学 年 末 考 査
	6 特殊な取引の記帳	2	・ 割賦販売、委託販売、未着商品売買、試用品販売等について基本的な処理法を考察します。	
	7 本支店会計	3	・ 支店会計の独立による本支店間の取引及び本店集中計算制度による支店相互間の取引の記帳について理解します。	
	8 会計処理の合理化		・ 財務諸表の合併手続きについて考察します。 ・ 企業の規模が大きくなり、取引量が増えた場合、記帳を合理化するために、どんな工夫がされるかを探究します。	
<p>【課題・提出物等】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 問題集を1月下旬までに提出します。 2 記帳練習問題を3月上旬までに提出します。 3 学年末考査終了時にノート・問題集・記帳練習問題集などを提出します。 				

【三学期の評価方法】

- 1 学年末考査の成績，ノート，問題集，記帳練習問題集などの提出物，学習活動への意欲・態度などで評価します。
- 2 学期全体の評価は，概ね，学年末考査の成績で50%，ノート，問題集，記帳練習問題集などの提出物の内容で30%，学習活動への意欲・態度で20%の配分で行います。

【年間の学習状況からの評価方法】

3つの観点から評価した1学期の成績，2学期の成績及び3学期の成績を総合し，年間の学習成績とします。

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業における取引を合理的，能率的に記帳する知識と技術を習得するために，取引を分解し，取引要素の結合関係をしっかり身に付けることが大切です。 ・ ノートは，板書をそのまま写すのではなく，自分で考えたことや感じたこと，さらに興味を持ったことをメモしたり，整理すると，後に役立ち，学習に広がり生まれます。 ・ 授業で取り上げる様々な課題について，教科書に書かれている文章を単に読むだけでなく例題や記帳練習を通して理解を深めることが大切です。 ・ より合理的，能率的に記帳する方法を探究しながら学習を進めることが大切です。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	授業では，計算用具を使用しますので，電卓または算盤を用意してください。その他，教具として平定規・赤色の筆記用具を使用します。欠席した場合は，その日のノートを級友から借りて写させてもらい，わからないところを教えてもらうことが大切です。

(2) 評価の観点，内容及び評価方法

皆さんの学習状況は，「知識・技能」，「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	簿記に関する基礎的・基本的な知識を身に付け，その基本的な仕組みについて理解している。 簿記に関する基礎的・基本的な技術を身に付け，適正な会計処理を行うことを合理的計画し，その技術を適切に活用している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査，小テスト ・ 計算能力・帳簿記入への正確性と明瞭性・練習問題集・記帳練習問題
思考・判断・表現	適正な会計処理を行うことを目指して思考を深め，基礎的・基本的な知識と技術を基に，ビジネスの諸活動に係るものとして適切に判断し表現する創造的な能力を身に付けている。	発表の内容や仕方・授業の中で使用するプリント・練習問題集
主体的に学習に取り組む態度	簿記について関心を持ち，適正な会計処理を行うことを目指して主体的に取り組もうとするとともに，会計処理を行う実践的な態度を身に付けている。	学習活動への参加の仕方や態度・練習問題集・授業の中で使用するプリント・ノート・配布物の整理

3 担当者からのメッセージ

生徒一人ひとりが個人企業の経営者になったつもりで学習を行いますので，物事を合理的に考え，処理していく能力や生活態度を身に付けることに繋がります。1年間の学習を通して，簿記の学習と経理業務や商品売買業などビジネスとの関わりが分かるようになり，将来，皆さんが社会人として生活していく上で大変役立ちます。作成された帳簿や貸借対照表，損益計算書といった財務諸表を通して，ビジネスの諸活動を計数的に把握できるようになり，経営活動の状況を見る視野や考え方が広がります。学習を通して，簿記検定試験3級を受験し資格取得が可能になっています。

ファッション造形基礎	単位数	2 単位
	学科・学年・学級	生活情報科1年

1. 学習の到達目標等

学習の到達目標	1 被服の構成, 被服材料の種類や特徴など被服製作に関する知識や技術を習得する。 2 被服の着装・製作・管理などに関する知識と技術を習得させ, 充実した衣生活を営むことができるようになる。
使用教科書・副教材等	ファッション造形基礎 (実教出版) 家庭基礎 (東京書籍) 家庭基礎学習ノート (東京書籍) 家庭科技術検定問題集 (基礎編)

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい	備考(学習活動の特記事項, 他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など)	考查範囲	
1 学 期	6章 衣生活をつくる 1 被服の役割を考える 2 被服を入手する		<ul style="list-style-type: none"> なぜ人は衣服を着るようになったのか, 人と衣服のかかわりについて学び, 被服の機能について, 自然環境, 社会環境とのかかわりから理解を深める。 被服材料の特徴や表示を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭科技術検定被服製作4級の実施 (手縫い・ボタン付け・ミシンの取り扱い等) 基礎縫い練習用布を用い繰り返し練習をして技術の習得を図る。家庭科問題集(基礎編) 	中間 考查	
	3章 洋服の製作 1節 製作の基礎					期末 考查
	2章 衣服の素材 1節 衣服素材の種類 2節 衣服素材の性能と選択	4	<ul style="list-style-type: none"> 縫製に関する基礎的な事項を理解し, 技法を習得する。 			
	3章 洋服の製作 2節 製作例 10 ショートパンツ 製作	5 6 7	<ul style="list-style-type: none"> 衣服素材の種類と特徴などについて学び, 衣服素材の性能について理解する。 衣服素材の改質・加工の技術にはどのようなものがあるかを学ぶ。 洋服の製作を通して基礎的な知識・技術を習得する。 (1) 道具の扱い方 (2) 型紙の使い方 (3) 縫い代の始末の方法 			
	【課題・提出物等】		<ul style="list-style-type: none"> 基礎縫いの作品, 家庭科技術検定4級作品(巾着)提出 			
	【第1学期の評価方法】		<ul style="list-style-type: none"> 学習活動への取り組み, 作品の到達度, 定期考查の成績 			

2 学 期	1章 衣服の構成 2節 立体構成衣服と 平面構成衣服	9	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の構成には、立体構成と平面構成の2つがあることを理解する。 洋服の製作を通して基礎的な知識・技術を習得する。 (1) 待ち針の打ち方 (2) 直線縫い (3) 曲線縫い (4) 三つ折り縫い 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭科技術検定被服製作洋服3級の実施 家庭科技術検定被服製作3級型紙利用 作品の着装をする。 	中間 考査	
	3章 洋服の製作 2節 ショートパンツ 製作	10 11 12			期末 考査	
【課題・提出物等】 ・ハーフパンツ提出, 課題提出						
【第2学期の評価方法】 ・学習活動への取り組み, 作品の到達度, 被服検定の成績, 定期考査の成績						
3 学 期	3章 洋服の製作 2節 スカートの製作	1 2 3	<ul style="list-style-type: none"> 平面製図でスカートの原型を1/4縮尺で作成し, 原型についての理解を深め, 基本的な技術を身に着ける。 		学年 末 考 査	
	【課題・提出物等】 ワークプリント提出 スカート原形作図のプリント提出・作品, 課題の提出					
【第3学期の評価方法】 ・学習活動への取り組み, 作品の到達度, 定期考査の成績						
【年間の学習状況の評価方法】 学年末の成績(評点・評定)は各学期の成績の平均から算出する。 平常点(授業態度・提出物) 2割 作品点 3割 ペーパーテスト 5割						

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> 意欲を持って授業に臨むこと。 製作に当たっては, 人に頼らず自分で理解し, 進めること。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	<ul style="list-style-type: none"> 時間厳守で授業を始めます。時間いっぱい取り組むこと。 教科書・ファイル・プリント・作品等はしっかり自己管理すること。

(2) 評価の観点, 内容及び評価方法

皆さんの学習状況は, 「知識・技能」, 「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	洋服を中心とした被服の構成や製作に関する基礎的な知識を身につけているか。 洋服製作に関する基礎的な技術を習得しているか。	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 作品
思考・判断・表現	洋服について理解し, 適切な選択のできる能力を身につけているか。	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 実習中の態度
主体的に学習に取り組む態度	洋服の歴史や構成に関心を持ち, 積極的に実習に参加しているか。	<ul style="list-style-type: none"> 実習への参加の仕方や態度 授業で使用するプリント

3 担当者からのメッセージ

・実習の技術や, 作業の進捗など個人差はあると思いますが, 目標に向かって努力を続けましょう。